

個人質問

議会事務局 処理欄	平成22年8月20日 8時30分 受付
	質問順位 第13-1番

武豊町議会議長 小山茂三 殿  
 武豊町議会議員 梶田 稔  
**一般質問の通告について**  
 平成22年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答弁者
1. 国保税の均等割部分の乳幼児・児童部分を減免し、引き下げを求める	<p>住民アンケートに寄せられた住民要望うち、国民健康保険税について、「高すぎて滞納がある」「高いので引き下げを」と答えたひとが、実に79%に上っている。</p> <p>一宮市の発表に寄れば、平成22年度より、均等割のうち、18歳未満の乳幼児・児童について7割を減免し、国保税の負担軽減を実施した。</p> <p>国保税の負担を軽減するため、次の措置を求める。</p> <p>現在、18歳未満の乳幼児・児童は何人か。</p> <p>均等割の7割を減免した場合及び10割を減免した場合、それぞれ、必要となる財政措置はいくらになるか。</p> <p>一般会計からの支援を拡充して、18歳未満の均等割部分を減免する措置を講じて国保税負担を軽減されたい。</p>	町長 部課長
2. 耕作放棄地を解消して、町内の食料自給率の向上を	<p>このほど農地法が改正され、遊休農地の集約化など耕作放棄地の解消などの方向が示された。食料自給率の向上のためには、耕作放棄地の解消と作付促進が不可欠であり、その具体策について見解を伺いたい。</p> <p>農地の全筆調査が行われたが、その結果、耕作放棄地を含む農地に係る調査結果を明らかにされたい。</p> <p>農地の集約化など、耕作放棄地の解消を推進するためには、町内農地の実態データをJA等関係団体と共有し、その分析に基づいて具体的に検討することが不可欠となっている。そのためにも、調査結果のデータを共有する措置を講ずる必要があるが、どのように講ずるか見解を伺いたい。</p> <p>耕作放棄地対策協議会が、このほど設置された。その構成内容と今後の活動・検討方針はどうか。</p> <p>耕作放棄地再生利用緊急対策事業の実施が打ち出されているが、その内容はどうか。</p> <p>今年5月策定された「武豊農業振興地域整備計画書」と今年6月、平成18年8月に策定された「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」が修正されたが、この二つの基本的な文書の内容に、重大な相矛盾する内容が含まれている。遊休農地・耕作放棄地の解消に向けての基本的な方向について、確固たる方針を策定すべきではないか。</p>	町長 部課長

個人質問

議会事務局 処理欄	平成22年8月20日 8時30分 受付
	質問順位 第13-2番

武豊町議会議長 小山茂三 殿  
 武豊町議会議員 梶田 稔  
**一般質問の通告について**  
 平成22年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答弁者
<p>3. ペンシルロケット開発ゆかりの地・武豊にロケット科学博物館の設置を</p>	<p>小惑星「イトカワ」から、60億kmの長旅を終えて7年ぶりに帰還した探査機「はやぶさ」が持ち帰ったカプセルが展示された会場には長蛇の列が連なったが、その光景は宇宙への関心の高まりを端的に表している。</p> <p>宇宙探査にはロケットが不可欠であり、そのロケットの推進薬の製造と最初のペンシルロケットの開発がこの武豊の地においてもすすめられたことは、知る人ぞ知る事実である。</p> <p>日本のロケットの歴史は、このペンシルロケットから始まったと言われるが、そのペンシルロケット開発の先進地、発祥の地と称するのは過分なことだろうか。</p> <p>2014年、合併60周年記念の一環として、愛知県当局に積極的に提起して、県施設としてロケット科学博物館の設置を要請することを切望するものですが、見解を伺いたい。</p> <p>「ロケット発祥の地・たけとよ」とでも銘打って、学校教育の副読本を編纂・発行すべきと考えるが、見解を伺いたい。</p>	<p>町長 教育長 部課長</p>